

マインドと瞑想についての詩節 I

汚れのない鏡

『パラマールタサーラ』第 9 節

आदर्शे मलरहिते
यद्वद्वदनं विभाति तद्वदयम् ।
शिवशक्तिपातविमले
धीतत्त्वे भाति भारूपः ॥

*ādarśe malarahite
yadvad vadanam vibhāti tadvad ayam |
śivaśaktipātavimale
dhītattve bhāti bhārūpaḥ ||*

顔が汚れのない鏡に映し出されるように、
その姿が光である[大いなる自己]は、
神聖な恩恵の降下によって
純粹にされた知性の中に現れる。



© 2023 SYDA Foundation®. 著作権所有。

『パラマールタサーラ』(至高なる真理の本質)は、10 世紀に、カシミール・シャイビズムの学者で賢人のアビナヴァグプタによって書かれました。この非二元性についての教えをまとめた著作は、シヴァが絶対的であまねく浸透する大いなる現実であり、従って、すべての存在の唯一の源であるという見方を表しています。上記の一節は、シャクティパート、グルの神聖な恩恵の伝授を受け取ることによって洗練された知性を通して、人間の本質である大いなる自己をどのように知ることができるかを説明しています。